

## ◆今期間のポイント

## &lt;主要じょう乱の概要&gt;

- 5日は、高気圧が日本付近から日本の東へ移動する。低気圧が黄海から日本海へ進む。
- 6日から7日は、低気圧が日本海から日本の東へ進み、高気圧が東シナ海から西日本付近へ移動する。
- 8日から9日は、低気圧が千島の東へ進み、高気圧が日本の南から日本の東へ移動する。

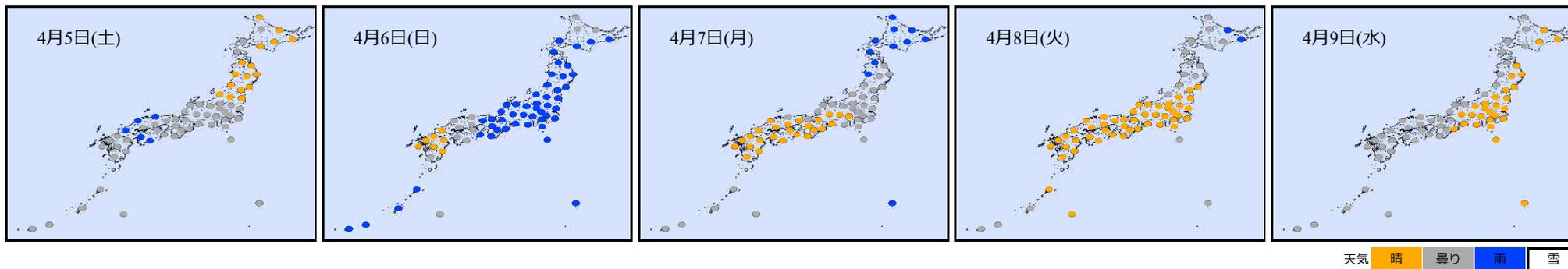
<防災事項> 11時、17時発表の早期注意情報に合わせて当項目は修正する場合があります。

- なし。

※最新の早期注意情報、気象情報、台風予報も参照ください。

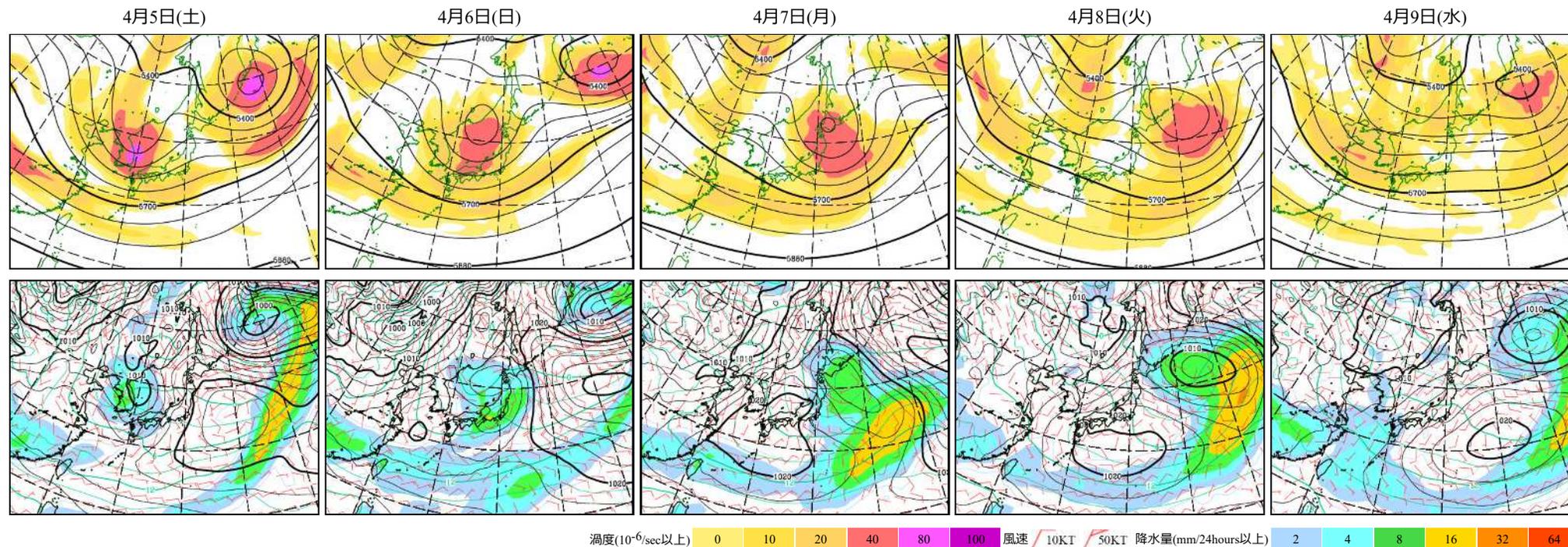
以下の資料は、気象事業者等が、気象庁の提供する週間天気予報の根拠を理解するための補助資料であり、そのままの形式で一般に提供することを想定して作成したものではありません。

## ◆10時時点の3～7日目の天気予報案 (11時以降は気象庁HP等にて発表予報をご利用ください。)

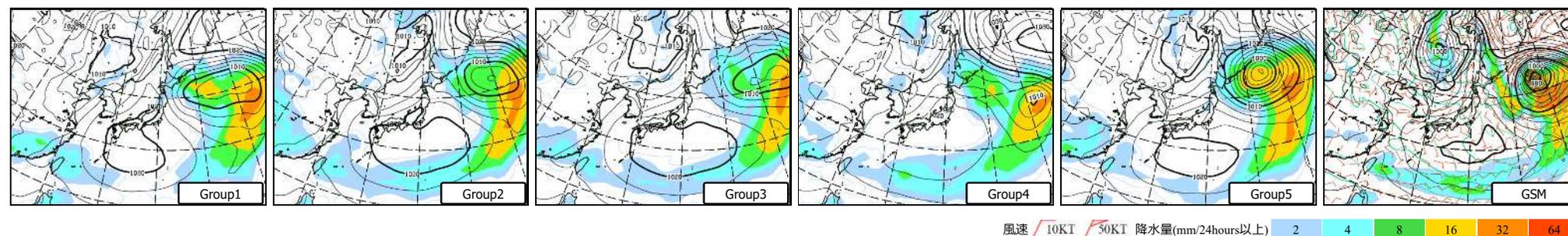


- 北日本は、曇りや雨または雪の降る日が多いが、5日と9日は晴れる所が多い。
- 東日本は、晴れや曇りの日が多いが、6日は雨の降る所が多い。
- 西日本は、晴れや曇りの日が多いが、5日と6日は雨の降る所がある。
- 沖縄・奄美は、雲が広がりやすく、6日は雨の降る所が多い。

◆アンサンブル(ENS)平均予想図 上図：500hPa高度線、渦度 下図：海面気圧、地上風、前24時間降水量(21時)



◆4月8日のENSクラスター平均(グループ1~5)とGSMの地上予想図 海面気圧、地上風(GSMのみ)、前24時間降水量(21時)



◆昨日資料からの変化と予想のばらつき

- 最新のアンサンブル資料(ENS)は、8日頃は千島の東へ進む低気圧が南寄りとなり、日本の南を東へ移動する高気圧が強まった。
- 各モデルともに、6日から7日の寒冷渦については初期値変わりが見られるが、比較的小さい。9日は、GSMは次の寒冷渦がサハリン付近へ進む予想だが、海外モデルは2つの寒冷渦の間のリッジがサハリン付近へ進む予想でモデル間の差が見られる。
- スプレッドは比較的小さいが、期間の終わりは5400mの特定高度線のばらつきが大きい。

◆ENSからの修正点とサブシナリオ等の補足事項

- 予報は、おおむね最新のENSを基に考える。